

令和6（2024）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

紫竹児童館

	活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計			
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
基 本 活 動 子 ど も 育 成 機 能	(2) 遊びの教室活動															
	太極柔力球体験	4		2	30	4	8	1				4	49	ボランティアにより行う。太極柔力球にふれあいながら楽しむ。	太極柔力球の基礎的な練習を行い、楽しんでいた。	
	太極柔力球にチャレンジ	6		3	38	3	8					6	58	ボランティアにより行う。太極柔力球にふれあいながら楽しむ。	太極柔力球の基礎的な練習や試合形式のゲームを行いを行い、楽しんでいた。	
	囲碁・将棋DAY	9		4	51		9					16	80	2名のボランティアにより行う。将棋や囲碁にふれあいながら楽しむ機会にする。	将棋や囲碁に興味を示した子が参加し、楽しんでいた。	
	(3) 行事活動															
	子どもワークショップ 「ミサンガをつくろう！」	1	1	7	8	2	2		1			8	29	京都市ごみ減量めぐるん推進友の会の方に来ていただいて、ごみについてのお話とワークショップを行っていた。	参加者は、それぞれの発想力を生かしてさをり織りミサンガを楽しそうに作っていた。 エコについて学ぶことができた。	
	防犯教室	2		1	57		12						70	北警察署のスクールサポーターの方に来ていただき、防犯教室を行う。	1,2年生対象と、3年生以上対象と分けて行う。防犯の意識が高まったようだった。	
	お話を語る会	6		3	176		6		1				186	京都おはなしを語る会の方による「語り」を実施する。	子どもたちは毎回楽しんでいる様子だった。	
	消防避難訓練	1			42		7						49	北消防署の方に来ていただき、火事を想定して、避難訓練を行う。職員の役割などを確認する。	火事を想定し、実際に運動場へ逃げる練習をした。子どもたちは真剣に取り組んでいた。子どもたちの避難訓練の後に、職員は交代で、消火器訓練をした。	
	ブラバン工作DAY	3		1		1							2	ブラバン工作を行う。	低学年も高学年も工作を楽しんでいた。	
	公園であそぼう	1	4						4				8	紫野保育園との共催事業。緑町公園でラリーやふれあい遊び・読み聞かせを実施。	参加者も館外での行事参加を楽しまれる。参加人数が例年より少なかったため、周知方法に工夫が必要。蚊が多かったため、来年度は開催時期を考える必要がある。	
	つくってあそぼう！ 小学生先生	1		4	3								7	つくってあそぼう！の小学生先生を頑張ってくれる。	小学生先生が前に出て手遊びをしてくれたり、大型絵本を読んでもくれる。乳幼児親子も喜んでおられた。また、工作も一緒に作って楽しそうに遊んでいた。	
	しちくじどうかんこどもまつり実行委員会	5		9	9								18	しちくじどうかんこどもまつりに向けて3年生以上で実行委員を募集し、企画・運営。	実行委員は初めてのメンバーが多かったが、それぞれ担当を決めたり、運営する順番を決めたり、当日の運営もしっかりとこなした。	
	クリスマスきりえ	6		6	41		3							クリスマスにちなんだ絵柄で、クリスマスカードを作る。	好きな絵柄を切り、カード作りを楽しんでいた。今後も季節行事を考えていきたい。	
	(4) クラブ活動															
	フラダンスクラブ	15	76	32	32				90			30	260	地域の方に講師に来ていただき、フラダンスを教わる。幼児さんから大人まで参加し、フラダンスの楽しさを知る。	基本的な型から教えてもらい音楽に合わせて踊ることにより無理なく楽しむことができた。発表の機会もあり、希望者が参加した。	
	けん玉クラブ	49		34	341	3	59						437	けん玉の技やもしかめ・けん玉ダンスを習得し、けん玉の楽しさを味わう。クラブとしてけん玉の楽しさの普及にも努める。検定も実施。	けん玉の楽しさに触れ、取り組んでいる姿があった。発表の機会もあり、クラブ員の中から希望者が参加した。	
	きりえクラブ	41		22	136	3	24						185	きりえを楽しむ。はさみから始め、カッターに進む。簡単なものから難しいものまで設定、上級が修了した人は自分の好きな作品にチャレンジする。上賀茂神社作品展に向けて、クラブのメンバー合同で大型作品を作り上げる。	きりえが好きでコツコツ続けて参加している児童もいる。参加者は楽しそうにきりえに取り組んでいた。	

子ども育成機能	基本活動	5/26 北区民ふれあいまつり フラダンスクラブ発表	1	7	6				11			1	25	北区民ふれあいまつりにてフラダンスクラブの発表を行う。	練習したことを、頑張って発表した。	
		北・上京・中京区ブロック 児童館・学童保育所まつり けん玉クラブの発表	1		5		2	1					8	児童館・学童保育所まつりにてけん玉クラブの発表を行う。	練習したことを、頑張って発表した。	
		9/14 しちくまつり けん玉クラブ発表	1		7	1	2		12				22	しちくまつりにてけん玉クラブの発表を行う。	練習したことを、頑張って発表した。	
		9/14 しちくまつり フラダンスクラブ発表	1	2	1	3			5			1	12	しちくまつりにてフラダンスクラブの発表を行う。	練習したことを、頑張って発表した。	
		10/20 敬老を祝う会 フラダンスクラブ発表	1	3	2				8			2	15	敬老を祝う会にてフラダンスクラブの発表を行う。	練習したことを、頑張って発表した。	
		2/8 ECOフェスタ けん玉クラブ発表	1		5			1	5				11	ECOフェスタにてけん玉クラブの発表を行う。	練習したことを、頑張って発表した。	
		(5) 地域間交流促進活動														
		子育てコミュニティパーク	1	4						4				8	北区の児童館の乳幼児さん向けの交流の場として、子育てコミュニティパークを行う。	今年度は京都府立植物園で行う。青空の下で行うこと、他館のお友だちと交流出来たことに喜んでられる方も多かった。
		上賀茂神社作品展	3												北区の児童館・学童保育所が合同で作品展を行う。上賀茂神社内で行われ、児童館・学童保育所のPRにもつなげる。	1つの作品を力を合わせて作り上げることができた。他館所との交流とともに、外部に向けてのPRにもなった。
		フードドライブ	6			2	1					6		9	家庭で余っている食品を回収し、NPO法人を通して必要とされている方々へ提供する活動。	利用者だけでなく、地域の方からの寄付もあった。
	児童館・学童保育所まつり	1			2	8	9	3	1		12		35	北・上・中京区の児童館・学童保育所が集まって行うおまつり。参加者やスタッフ間の交流、参加者の健全育成、子育てネットワークの促進を目的とする。	今年度は午前の部と午後の部に分かれ、北文化会館にて行う。発表を見たり、ゲーム、工作コーナーなど楽しんでいた。	
	(6) 障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進															
	日常													障害のある児童の居場所づくり	小学生の保護者から問い合わせもあり、日常の利用や行事参加につながっている。周囲の子どもたちの理解や交流を深めていきたい。	
	(7) 思春期児童の活動支援															
	精華学園中学校との交流会	2	28					58	28				114	児童館を利用している、乳幼児親子に声をかけ、精華学園中学高等学校の中学2年生との交流会。	2日に分け、乳幼児親子と交流。手作りのおもちゃをプレゼントし、一緒に手遊びなどしてふれあってもらう。また、保護者の方にインタビューしてたくさんのことを学べようだった。	
	加茂川中学校チャレンジ体験	3									9		9	加茂川中学校のチャレンジ体験の受け入れ。	乳幼児クラブの補助（手遊びなど）日常の業務などをチャレンジしてもらった。また、利用者や小学生とふれあいがたくさんということが学べようだった。	
	(8) エコ活動															
	おゆずり会	4	15						15				30	北区役所子どもはぐみ室の「にこにこ北っ子ども服リユース☆」事業で回収された子ども服のおゆずり会を実施。	たくさんの方が参加され、必要な分を持って帰られる。	
	合 計	176	140	154	972	29	149	62	185	9	18	68	1736			
	推進活動															
		合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
子ども育成機能 合 計		176	140	154	972	29	149	62	185	9	18	68	1736			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(紫竹) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア		合計				
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生				大人	
基 本 活 動	(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動															
	①乳幼児クラブ活動															
	てくてくクラブ体験	2	11						11				22	てくてくクラブの入会前の体験を行う。（前期1回、後期1回）	入会前にクラブの雰囲気を知ってもらう機会となった。	
	すくすくクラブ体験	2	17						14				31	すくすくクラブの入会前の体験を行う。（前期1回、後期1回）	入会前にクラブの雰囲気を知ってもらう機会となった。	
	ぶくぶくクラブ	31	227	3					222			2	454	おおむね0歳の親子を対象とした乳児クラブ、自由あそびの後、交流を行う。子育ての不安や悩みや楽しみを共有し合う。手あそび・ふれあいあそび・自己紹介・様々なテーマに沿ったテーマトークや工作を行う。食育指導員の方に来ていただき、災害食についても話していた。	テーマトークや足型工作など好評であった。クラブの中で保護者同士の交流も深まったようだった。	
	てくてくクラブ	36	177						3	176				356	前期は1歳～1歳半頃の親子を対象、後期は1歳～2歳頃を対象とした半期の登録制幼児クラブ。季節行事や工作などの取組を通して、親子の絆を深める。また、子育ての仲間作りを援助する。	前期は少なく、後期は登録が多かったが、お休みするご家庭も多く、少人数で行うこともあった。さくらdays（アプリ）もみなさん活用されていた。
	すくすくクラブ	36	240							185				425	前期は1歳半以上の親子を対象、後期は概ね2歳以上とした半期登録制の幼児クラブ。季節行事や工作などの取組・グループ活動を通して、親子の絆を深める。また、子育ての仲間づくりを援助する。	前期の登録は多く、活動にもぎわっていた。後期の登録は少なかったが、下のお子さんを連れた親子が多かったこともあり、あまり少なく感じる日はなかった。さくらdays（アプリ）もみなさん活用されていた。
子 ど も 家	②乳幼児の広場活動															
	のびのびひろば	31	233						3	219				455	地域の遊び場として、気軽に参加できる場所を提供する。その中で保護者同士の関わりを通して子育ての仲間づくりを援助する。自由あそびの時間と職員が手あそび・ふれあいあそびの紹介や読み聞かせ等をする時間を設ける。	自由度が高いので参加しやすいようだった。継続して参加される方も多く、親子で楽しんでいる様子もうかがえた。

庭
支
援
活
動

基
本
活
動

子育て講座	4	23						29				52	講師に来ていただき、テーマに沿ったお話をしていただく。また終了後、相談タイムを設ける。	4つのテーマで子育て講座を行うが、その都度ニーズにあった利用者の方が参加され、参加してよかった、色々聞けて良かったという感想が多かった。また、個別講師の先生に質問している様子もあった。
③家族参加を促す活動														
つくってあそぼう！	1	9						8			6	23	乳幼児親子が工作を楽しみながら、小学生や民生児童委員さんと交流する。	実行委員の子どもたちがベープサートや手遊びをしてくれる。乳幼児親子も喜んでおられた。また、工作はウルトラボールを小学生や、民生さんと一緒に作って楽しそうに遊んでいた。
合 計	143	937	3	0	0	0	6	864	0	0	8	1818		

推
進
活
動

(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢		件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数		相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数
	乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生		9 30 2	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }				41		健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { 学童クラブ個人懇談 }		4 8 29	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }		2 3
	件数 計		41	—				41		—		41	—		5
	グループ名		構成人数	活 動 内 容				育成・支援内容				成果と課題			
	(4)子育てグループを育成														
(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名		実施回数	活 動 内 容								成 果 と 課 題			
	京都市家庭ごみ有料指定袋 無料引換券の引き換え		随時	券を持参された方にごみ袋とともに、館のおたより等を配布、利用・事業の説明を行う。								丁寧に利用の説明をすることで、来館につながることも多い。今後も丁寧な対応を心がけたい。			
	子育て講座		4	アンケート等で利用者のニーズを聞き取り、講演会を行った。								子育てに関して学びあい、理解を深めることができた。また、個別相談により、悩みの解消にもつながった。			
	利用者アンケート		1	11月に児童館利用者（自由来館児童、乳幼児親子、中高生、学童クラブ児童と保護者、地域の方）対象に市社協共通のアンケートを実施する。								小学生は76%、保護者や地域の方は70%の回収率だった。アンケート結果については、利用者からの声をしっかりと受け止め、今後に活かしていきたい。			

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(紫竹) 児 童 館

<様式10-3>

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
			カフェふらっと紫竹	11	紫竹自治連合会福祉委員会	31						329 + 140 (Vo)	797	紫竹学区地域諸団体	児童館遊戯室をカフェにし、地域の乳幼児親子から高齢者まで3世代交流の場としての役割を担った。
			子育ておしゃべりクラブバンブー	3	紫竹民生児童委員協議会、紫竹社会福祉協議会、紫竹児童館	23						22 + 23 (Vo)	90		子育て家庭同士や民生児童委員さんとのつながりが深まった。
			紫竹まつり	1	紫竹まつり実行委員会	94	142		73		2	74	385		児童館はステージ発表（フラダンスクラブ・けん玉クラブ）とあそびのブースを担当した。参加された地域の方々に児童館のPRになった。
			フナオカスタンダード2024中止	1	フナオカスタンダード2024実行委員会										大雨のため中止
			北区民ふれあいまつり	1	北区未来につながる区民会議 北区役所	7	6					11 + 1 (Vo)	25		フラダンスクラブの発表を行う。
			しちくじどうかんこどもまつり小学生の部	1	紫竹児童館		12	13	1	3		4	33	紫竹運営協会後援 紫竹自治連合会協力	今年度は、工作コーナー、遊びのコーナー（職員のブースと実行委員のブース3つのコーナーを作る）、クイズラリー、おたのしみタイムなどを行う。参加者たちも楽しんでいた。
			しちくじどうかんこどもまつり乳幼児の部	1	紫竹児童館	14						13 + 9 (Vo)	36	紫竹運営協会後援 紫竹自治連合会協力 紫竹民生児童委員協議会	工作コーナー、遊びのコーナーそれぞれのコーナー楽しんでおられた。おゆずり会も喜んでもらえた。
			紫竹ルネサンス	1	紫竹自治連合会	15	93		109		3	5	225		児童館ブースも用意し、参加者にはお手玉なげなどあそびのコーナーを楽しんでもらう。
			ECOフェスタ	1	紫竹自治連合会	11	24		11			12	58		けん玉クラブの発表。児童館ブースも用意し、参加者にはエコ工作を楽しんでもらう。
			敬老を祝う会	1	紫竹社会福祉協議会	3	2					8 + 2 (Vo)	58	紫竹自治連合会福祉委員会	フラダンスクラブの発表。職員がスタッフとして協力。
			合 計	22	—	198	279	13	194	3	5	95	1707		

地 域 福 祉 社 会 活 動 促 進 機 能	基 本	(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容		活 動 人 数				成 果 と 課 題	
			中高生	大学生	大 人	合 計				
			ボランティアの受け入れ			6	299	305	幼児クラブ、小学生クラブ、囲碁・将棋、太極柔力球のボランティア、めだかボランティア、あそびのボランティア、児童館まつりへの協力など、様々な行事活動への協力があり、行事の幅が広がっていた。	
	合 計		0	6	299	305				
	(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容				成 果 と 課 題			
		紫竹児童館運営協力会	児童館の活動にさまざまな形で後援をいただく。地域ぐるみで子育て支援に取り組むことを目的に活動。しちくじどうかんこどもまつりの後援。				しちくじどうかんこどもまつりでは、当日のスタッフとしても協力していただく。今後も協力体制を維持し、さらなる積極的な連携を図りたい。			
		紫竹自治連合会	地域行事や学区清掃、防災訓練・イベント等への参加を通して、地域住民との交流、連携を深める。また町内回覧を通して児童館の活動のPRも行う。				地域住民に児童館の周知・理解を促す。また、地域行事に参加することで地域諸団体との連携が深まった。			
		紫竹自治連合会福祉委員会	地域の福祉的課題について連携を深める。カフェ“ふらっと紫竹”、公園体操“いきいき紫竹”の開催、じどうかんまつりへの協力等。				地域の福祉的課題について情報共有を図る。カフェふらっと紫竹やいきいき紫竹のイベントを通して、地域住民とつながりがさらに深まり、児童館が地域に身近なものになった。			
		紫竹民生児童委員協議会	子育てサロン（子育ておしゃべりクラブ『パンプー』）を児童館で開催。地域子育てステーション事業「つくってあそぼう！」への参加協力・高齢者支援などの連携を行う。				子育てサロンは、職員も運営に協力し、児童館のPRも行う。「つくってあそぼう！」は小学生、乳幼児親子、民生児童委員の交流の場になり、民生児童委員の周知にもつながった。			
		紫竹社会福祉協議会	春季ふれあい交流会を共催、敬老を祝う会への協力。				春季ふれあい交流会については新型コロナで中止以降、再開を目指して協議を進めている。敬老を祝う会は職員がスタッフとして協力。			
元町学区民生児童委員協議会		毎月のじどうかんだより・学童クラブだよりを届ける。				元町学区の乳幼児親子、小学生の利用もあるので、連携を深めていきたい。				
紫竹小学校		じどうかんだより・学童クラブだよりを届ける。児童に関する懇談、情報共有を行う。2年生の授業「まち探検」の協力。				児童に関する情報交換や連携を行うことができた。				
大宮小学校・元町小学校		じどうかんだより・学童クラブだよりを届ける。児童に関する懇談。				児童に関する情報交換や連携を行うことができた。				
加茂川中学校	毎月のじどうかんだよりを届ける。生き方探求チャレンジ体験の受け入れ。				チャレンジ体験は3名の中学生の受け入れ、中学生の利用促進に向けて、連携を深めていきたい。					

地 域 福 祉 促 進 機	基 本 活 動	(3)地域との連携を 促進する活動	京都教育大附属京都小中学校	毎月のじどうかんだよりを届ける。	学童クラブ児童を受け入れているため、学校との連携を図っていきたい。
			京都精華学園中学高等学校	中高生世代と赤ちゃんとの交流事業の開催。精華学園中学高等学校の中学2年生と乳幼児親子との交流会を行う。	中学生の利用促進に向けて、連携を深めていきたい。
			大谷大学	学生の考えた小学生向けの企画への協力。	学生と小学生の交流につながった。今後も連携を深めていきたい。
			紫竹小学校放課後学び教室	広報、放課後学び教室と児童館との連携について話し合う。	まなび教室の広報をする。また、連携のあり方について話し合うことができた。
			ほっとマナ	毎月のじどうかんだよりの配布、ほっとマナのポスター掲示、ビラ配布。	今後も連携を深めていきたい。
			北警察署	小学生向けに防犯教室の講師をしていただく。 幼児向けの交通安全教室をしていただく。	警察官やスクールサポーターの方に来ていただき、交通安全・防犯教室を行うことができた。スクールサポーターの方とは定期的に交通安全や防犯、学童クラブの登下館について情報共有を行っている。
			北消防署	小学生向けの消防避難訓練を実施。 幼児クラブで消防署見学を実施。	消防避難訓練では、訓練の内容についてフィードバックしていただき、消防に関するお話もしていただいた。職員向けに消火器訓練も実施していただく。子ども・職員とも火災の際の行動が身についた。幼児クラブの消防署見学では、幼児向けに消防の啓発に取り組むとともに、保護者向けに危険物や、火災がどのように起こるかなどのお話をしていただく。
			北区役所保健福祉センター 子どもはぐみ室	おたより交換、情報交換。 講師派遣依頼。	気になる乳幼児親子などの情報交換や支援をする。 また、支援の必要な学童クラブの家庭についても定期的に情報交換を行う。 乳幼児保護者向けの子育て講座の講師で来ていただく。
			北区児童館学童保育所連絡協議会	職員研修・交流会の開催、上賀茂神社作品展の開催。 北区児童館で子育てコミュニティパークの共催。 総会にて各担当の報告、課題の共有。	近隣施設の職員と交流ができ、事業の開催など資質向上にもなる。また、子育て支援の課題についても話し合った。さらにつながりを深めていきたい。
			紫野保育園	「公園であそぼう！」の共催。学童クラブ児童についての情報交換。じどうかんだよりの配布。	共催の行事をすることができた。また、学童クラブ入会する児童についての情報交換を行った。ステーションとしての連携を深めていきたい。
			洛北幼児園	じどうかんだよりの配布。	じどうかんだよりを配布することにより、児童館のPRに繋がった。

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

<様式10-5>
(紫竹) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	毎月1回	児童、保護者、地域、学校	児童館にて配布、小学校にて配布、町内回覧、地域諸団体に配布、館内掲示板・館外掲示板に掲示、関係機関にて配布、ホームページに記載。	各月の行事案内、前月の報告、その他お知らせなど。	学校配布、地域回覧により広報がいきたる。町内回覧やホームページを見ての来館もあった。
	広報	随時	児童、保護者、地域	館内掲示板、館外掲示板に掲示	事業内容・各月のカレンダー	季節を取り入れた装飾を行い、目立つように工夫する。子どもたちに飾りを作ってもらった。館内の廊下、遊戯室には大型カレンダー等の掲示をする。 乳幼児向けのお知らせ、小学生向けのお知らせをの掲示を分け、分かりやすい広報を目指した。
	ホームページ	随時	誰でも	Webページ上にて公開	児童館だより等の掲載 児童館の場所・事業内容・各月の行事等の紹介 閉館・行事の中止等のお知らせ	閲覧しての来館も増え、特に乳幼児の保護者の方はよく利用されてるようである。
	児童館の利用案内	随時	利用者全般	初来館者 学童クラブ登録前説明会	児童館・学童クラブの概要	児童館事業全般・学童クラブ事業について説明する際、活用した。
	「京都市北区詳細図 紫竹学区区域図」に協賛	年1回	地域住民	地域住民に配布される	児童館や周辺施設・住宅の掲載	紫竹小学校区の住宅地図のため、地域の詳細が分かる。
	「くらしの友 紫竹・鳳徳」に協賛	年1回	地域住民	地域住民に配布される	児童館や周辺施設の場所及び活動内容の掲載	児童館の活動内容が周知できた
	紫竹・元町小学校区の 「安心・安全マップ」に協賛・配布	年1回	地域住民 利用者全般 小学校児童	利用者に配布 館内配架 小学校で配布される	紫竹・元町小学校の危険な場所や子ども110番のいえ等の掲載 児童館や周辺施設の掲載	児童館利用者の行き・帰りの安全や、学童クラブ児童の登下館の安全指導に役立った。